

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年2月8日

事業所名：PARCあしや

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの療育スペースを確保している。(粗大運動、机上課題など) ・旧キッチンをリフォームし、微細教材の部屋として稼働できるようにした。 ・地域の公園や神社などに赴き、戸外での療育を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の動きにあわせて、いつも展開して下さっています！ ・もう少し広くてもいいかなと思います。 ・欲を言えば外でも活動できるような庭があったら尚嬉しいです。 	<p>引き続きお子さま主体の療育展開を行うことができるよう、療育スペースの構造化を今一度図る。</p> <p>安全確保には常に留意し、現状の広さでも十分な運動療育が展開できるよう、また、ご利用者様同士に必要な空間確保ができるよう療育の進め方を工夫する。</p> <p>引き続き公園等に出掛け、戸外での療育が展開できるようにする。</p>
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・人員に余裕がない場合は、利用時間中の相談支援が実施しにくいこともあり、希望者には時間外での相談支援を実施している。 ・STは常駐しているが、全指導員がトータルにお子さまの目標にそった療育を実施している。療法士との連携は常に行っている。 ・通所療育の範疇において適切な人員配置であり、個別での療育スタイルを維持できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前と比較すると先生とお話できるタイミングが減ったように感じます。 ・言語、理学療法をもう少ししっかりみてもらいたい。 ・専門性の適切な配置を希望 	<p>会社としての強みを活かしながら、保育士、児童指導員を中心に療法士との連携を引き続き取りながら、安心して療育を受けていただけるようにする。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・段差のある場所にはスロープを設置。 ・床の凹凸のあったキッチンをリフォームし、安全な環境を確保、 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの段差が少し苦手の為、バリアフリー化してほしいです。 	<p>引き続き環境整備に努める</p>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、より一層衛生管理及び整理整頓を常時行っている。 		<p>衛生管理は行政との情報をこまめにチェックしながら連携運動していく</p>
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員のタスク確認や情報共有をカンファレンス及びPCシステムを活用して行っている。 		<p>多職種がいる強みを生かしSurvey(調査)という名の情報収集を行いSPDCAサイクルを目指していく</p>
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施 		<p>必要であれば実施していく</p>
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあり、外部研修の機会が減少しているが、会社内及び事業所内での研修やPCシステムを活用してのSVを実施している。 		<p>コロナ終息までの期間はオンラインでの研修の活用や現行の研修を引き続き実施する。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントやモニタリングの機会には、親御様からのヒアリングを実施し、お子様の実情を整理・分析し、支援計画を作成している。	引き続き実施する。	
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・コロナの影響で集団療育の実施ができていない。	・最近とても良くなった。 ・先生と話す事によって、子供の今の課題が明確になりました！ ・以前より一層、丁寧に計画を一緒に考えてくださったと思います。	コロナ終息までの期間に、オンラインを活用した集団療育の実施を検討する。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童発達支援計画では共通の項目を用いている。放課後等デイサービス計画ではお子様のニーズに応じて支援内容を項目毎にカテゴライズし、より具体性をもって支援内容を記載できるようにしている。		引き続き実施する。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・当日ご利用のお子様の目標設定及び前回の療育状況を担当者が必ずチェックしている。	・その日の担当先生が何の専門の先生で何をひき出そうとしているのかがわからない。	お子様一人ひとりの目標内容や療育の経過を引き続き確認するとともに、当日実施した療育内容での変化や状況説明を数分程度にはなるが帰られる際に親御様に簡潔にご説明する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・イベントの企画や継続的に取り組める活動プログラムの計画を実施している。	・新しいおもちゃを取り入れ、子どもが興味を持つ工夫がされている	引き続き実施する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・当日のお子様の来所までの過ごし方については常に留意し、体調への配慮やメンタルケアの部分も療育の一部と捉え支援を実施している。	・イベントを大切にしたり、何か新しい事を提案してくれます。 ・子供の好きな事を優先する為、毎回同じような遊びをしている。 ・その日、本人がやりたいことを尊重してくれていると思います。	引き続き実施する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・お子様主体での療育スタイルのため同じあそびを楽しみにされている場合もあるが、環境構成やあそびの提案に配慮し、お子様が自ら取り組みたいと思っただけられるようはたらきかけている。また、変化が大きく見られない経過観察の段階の際には、そのことを親御様にお伝えし、ともに今後の成長の変化を感じていただけるようにしている。	・本人の希望を優先させるとむずかしい場合がある。 ・やりたいことをできる時間だと考えている。ただ時々手持ち無沙汰な様子がみられるので、興味が広がる提案があると助かります。	環境を構造化することで、あそびの発想につながる支援をしていくとともに、同じ遊びのなかでも成長につながる提案やアプローチを行い、親御様もそのことに気づいていただけるようお伝えする。 現行の実施状況を継続する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・朝礼時に必ず確認を実施している。		引き続き実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・記録を作成し、必ず全員が閲覧するようにしている。必要に応じて口頭での共有や緊急のある事項については即時共有するようにしている。		引き続き実施する。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・記録は毎回作成し、全員で共有できるよう共通の記述方法などのルール化も行っている。支援の検証・分析については、カンファレンスやPCシステム内での意見交換などを活用し、迅速に対応できるようにしている。		引き続き実施する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的なモニタリングの実施と計画の見直しだけでなく、お子様の状況を鑑みて必要に応じて期限前の計画変更も実施している。		・引き続き実施する。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・スタッフ全員での共有のもと、所長を中心に会議に出席している。		引き続き実施する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・相談支援事業所の仲立ちのもと、必要に応じて情報共有を実施している。 ・セルフプランのご家庭に対しては、親御様との協議を経て情報共有を実施している。		引き続き実施する。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・相談支援事業所の仲立ちのもと、必要に応じて情報共有を実施している。 ・セルフプランのご家庭に対しては、親御様との協議を経て情報共有を実施している。		引き続き実施する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・コロナの影響で研修の機会が少なかったものの、オンラインでの研修参加も行うようにしている。		社内研修部との連動や行政との連携も引き続き実施していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・実施していない。		コロナ禍もあり対人交流は実施しないが地域の会など活動状況の共有や発信を目指す
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・実施の機会がなかった。		コロナ禍にて様子を見ながら検討していく
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に実際の数値を見ながらご説明し、実績記録表へのサイン・押印の際にも記載事項と一緒に確認し必要に応じてご説明している。		引き続き事業所長中心に実施する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・支援計画書更新時には、必ず実際の計画書をご提示して説明している。また、親御様からの質問にもお答えしている。		引き続き事業所長中心に実施する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・コロナの影響で「ペアレント・トレーニング」という研修形式での実施はできなかった。 ・ご利用時に親御様にお話をさせていただく機会を作っている。(しかし、今年度は人員体制の関係で実施しきれない場合もあった。)	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は声かけて頂いて子供の生活の生活面の話もできていたのですが、今は特になく大変残念ですし、行われていないと思います。 ・お話を沢山聞いていただいています。 ・オンラインセミナーはまた是非やってほしいです。 ・気付かないうちにアドバイスを頂いている事が多く、本当に感謝しています。 ・コロナで動画配信など勉強の機会がありました。今後も定期的に行ってほしいです。 ・相談すると親身に対応していただき、専門の先生に繋いでくれました。 ・(いいえではありませんが)利用児に困り事を伝えるといろいろとご提案はいただけています。 	通所ご利用時には親御様とお話する機会を引き続き設けるようにし、相談支援を充実させられるようにする。 通所ご利用の際に相談支援の一環としてのペアレントトレーニングの実施を個別に行えるようにする。 集団でのペアレントトレーニングを実施する。(オンラインでの実施も検討する。)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳にご記入いただいたことに対して、連絡帳内にご返信させていただくようにしている。 ・口頭での情報共有も実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所長中心にささいな事でも共有して一緒に悩み考え支えて頂いています！ ・ノートに毎週近況を書いているので、共有できていると思います。 ・連絡帳に返信が書かれるようになり、伝え合いやすくなったと思います。 	親子支援が基本理念の事業所なので引き続き共通理解のもと支援体制を構築していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用時にご相談を承れるようお声がけをおこなっている。 ・必要に応じて面談を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より減ったように感じます。 ・十分対応していただいています。 	より積極的にご利用の際に親御様のご相談に対応できるようお声掛けをおこなっていく。 必要に応じてご利用時間以外の時間での面談を予約設定し、じっくりとお話できる環境を整える。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は仕方ないと思います。 ・コロナ禍ですので、今は不安かと・・・ ・コロナ対策のため今は実施していないと思います。 ・コロナで開催できないことは理解しています。 ・コロナで開催できないことは理解しています。 ・コロナにより開催されていないのかがわかりません。 ・コロナの影響で今年はなかったが、昨年は茶話会に参加して色々な情報を得ることができました。 ・コロナの影響により、今年は集まれないのではないと思いますが、今後、機会があればいいかなと思います。 ・コロナの為。 ・茶話会などには参加していないので、判断できません。 ・出席したことがないのでわかりません。 ・年長児(放課後等デイサービスが使える)の保護者はその後の居場所さがしに苦心されておられるのではないのでしょうか。(情報交換の場があればと思います) 	オンラインでの実施も視野に入れながら、保護者様同士の横の繋がりの中立ちとしての役割を果たすこともできるようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情については所長を中心に全スタッフでの内容の共有を行い、改善点についての協議を行っている。個別での内容については個別でご説明を行い、全体に関係するないようについては口頭でのご説明に加えて、事業所内での掲示やお便りでのご報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があるか知らないです。 ・苦情はありませんが ・迅速ではなかった。その事についてのどうしていこうという相談に時間がかかったことがあった。(気にして下さっている事には感謝) ・苦情申し立てをしたことはありません。 	苦情の前に相談というカタチでしっかりと対応できるように日々の些細な変化を逃さずに気づきの支援を目指していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭でのやりとりに加えて、視覚的にも確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、子供が表現した事を教えてくれます！！ 	構造化支援にて空間・時間・予定等への配慮と意識化に努める
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月PARCたよりを発行している。 ・SNSでの発信も行っている。 ・臨時のお知らせについては、口頭でのお伝えに併せて手紙の配布及び掲示にてお知らせしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の予定をもっと早く教えてほしいです。 	今までの取り組みに加えて、臨時の休業日(今年度はキッチンの工事など)が発生する場合は、できるだけ早くに日程をお知らせする。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の書類については必ず鍵のかかる保管場所で管理している。報告書やSNSについては、個人と特定される写真の掲載はできるだけ控えるようにしている。 ・個人名の掲示は実施していない。 		スタッフへの再周知と個人情報の保護に引き続き努める
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアルは常時閲覧可能な状態でファイルにして設置している。 ・コロナについての情報共有は、手紙の配布、掲示を中心に適宜実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し早めの対応があると助かります。 	発信の時期についてはできるだけ早くにお伝えできるよう準備していく。現状実施しているものは引き続き実施する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路確認と消火訓練、環境面での設備チェックを定期的実施している。 ・避難訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は訓練のある場面立ち合いませんでした。(前年度はあり) 	コロナ禍にて様子を見ながら訓練等を行って
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講を必須としている。 		引き続き実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
母の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・実際に身体拘束を行った際には、即時親御様と当事者のお子様への説明を実施。	事前の周知のタイミングとしては契約時に状況事例を用いつつ分かりやすくお伝えする。実際に身体拘束を行った際には、即時親御様と当事者のお子様への説明を実施。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・今年度はコロナの影響もあり、食べ物の提供は行っていない。	食事提供の機会が把握できた時点で、参加対象のお子さまへのアレルギー調査を随時実施する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・該当事例発生の際には必ず書類作成及び協議を実施し記録として残す。	事業所の財産として共有化と再発防止に努め